THE SETAGAYA CENTRAL LIBRARY PRESS

ざ・ちゅうおう　ぷれす

第７６号　２０１３年　３月号

発行：世田谷区立中央図書館
世田谷区弦巻３－１６－８
ＴＥＬ　３４２９－１８１１
ＦＡＸ　３４２９－７４３６

目　次

◆ 特集１ 世田谷と“桜”・・・・・・・１～２
◆ 特集２ より便利な予約サービスへ・・・・３
◆ 学びのプレゼン～学習活動発表会～・・・４
◆ 世田谷区子ども読書活動推進フォーラム・４
◆ 文字・活字文化の日記念講演会・・・・・５
◆ サザエさんコーナーができました・・・・５
◆ 新着図書案内・・・・・・・・・・・・・６
◆ 本を探そう！～地域資料編～・利用者からの意見・要望の紹介・編集後記・・・・・・７

図書館ホームページ　（パソコン）　http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp
（携帯）　http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/

世田谷の“桜’（写真は桜新町駅前）

⇒詳細は次頁へ

中央図書館カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

中央図書館　開館時間
火～日　　１０：００～１９：００
月・休日　　１０：００～１７：００

■ は、世田谷区立中央図書館休館日です。
□ は、１７時に閉館です。

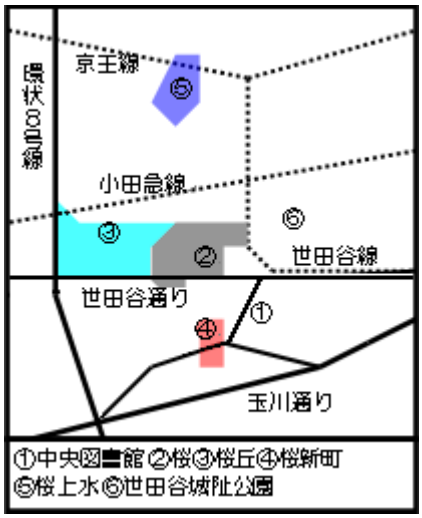
５/７（火）は、臨時休館です。
（建物法定電気設備点検のため）
５/２３（木）～５/２９（水）は
特別整理のため休館です。

★毎月最終木曜日は、館内整理日のため休館です。

特集１　世田谷と“桜”

今年も春がやってまいりました。春といえば桜、そしてお花見の季節です。
春にちなんで、世田谷区内の桜のつく地名の紹介と、由来について特集します。

世田谷区内の桜のつく地名



昭和３９年から４６年にかけて住居表示制度が実施され、世田谷区内には６１の町名が設定されました。その際に、区内では初めて桜のつく町名が作られました。まずは、それぞれの町名の由来を見ていきましょう。

桜

かつてこの区域は勝光院（吉良氏の菩提寺）の領地であり、その中に桜木という字（あざ）がありました。これは世田谷城内にあったという「御所桜」という由緒ある桜にちなんだものと言われ、それが現在の地名の由来となっています。

桜　丘

桜丘の由来は、“桜が多い丘”ではなく、桜丘小学校からきているそうです。大正時代に桜小学校の分校として発足し、桜小学校の「桜」に丘の一文字を付け足して桜丘小学校となりました。

桜新町

この区域は、明治末から大正２年にかけて郊外開発計画として「新町分譲地」が造成されました。新町の幹線道路の両側に桜並木が作られていたことが由来とされています。

桜上水

桜上水の町名は、京王線の駅名から取られたそうです。駅名は、駅の北側を流れていた玉川上水沿いに桜並木があったことに由来しています。かつては「車庫前」という駅名でした。

以上のうちから、「御所桜」と桜新町の桜並木をとり上げました。

「御所桜」と世田谷城

世田谷城阯公園

「御所桜」のあった世田谷城は南北朝の頃、吉良氏が戦での手柄により関東管領・足利基氏から武蔵国世田谷領をもらい受け、築城されたことが始まりといわれています。その後、吉良氏と親戚関係になっていた北条氏が豊臣秀吉に攻め滅ぼされ、吉良氏も運命をともにしたため、城も廃城となりました。現在は世田谷城阯公園となっています。

世田谷城阯公園は東急世田谷線上町駅から３分ほど歩いた場所にあります。公園前の交差点に出ると、住宅街の真ん中に突然小山が出現したような印象を受けました。

園内には、すぐ下まで行くと見上げるような高さの土塁や橋の架かっている空堀の跡があり、子どもたちの良い遊び場になっています。現在公園となっているのは世田谷城の南東端の一部に過ぎず、本来どれほどの規模を持っていたかについては諸説あり、見解の分かれるところとなっています。

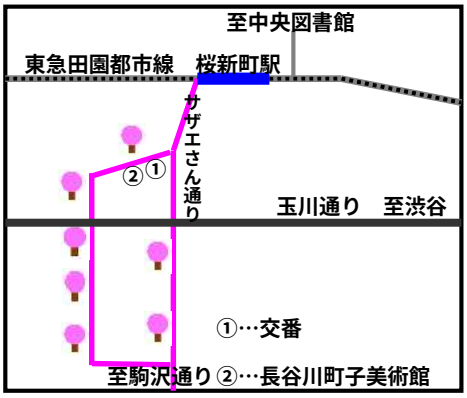
「御所桜」は『江戸名所図会』には、「昔は同じ所に御所桜と称せしものありしが、後世枯れたりと云いて、今は此木なし。」とあります。今となっては想像することしかできませんが、廃城となったあともその名を残した桜だけあって、さぞ美しく立派な桜だったのでしょう。『江戸名所図会』は、その名の通り江戸の名所の由緒などを図と併せて紹介しています。寺社の紹介が中心で、周辺では豪徳寺や世田谷八幡なども載っています。由来を知るのに役立つ資料となっています。

桜新町の桜並木

桜新町の桜並木は前述のとおり、宅地開発に伴って作られたものでした。この桜並木がある「幹線道路」は、「サザエさん通り」を抜けた先の交番前にあるＹ字路から始まり、道なりに玉川通りを渡り、深沢８丁目から７丁目へと続いています。

道路の両側に植えられた桜は枝を道路の中心に向かって伸ばし、頭上を覆うトンネルのようになっていました。取材で訪れたのはまだ雪の残る頃で花も咲いていませんでしたが、通りの先に目をやると木々のトンネルがどこまでも続いているような印象を受けました。

また、花が咲く頃には圧倒されるような桜のトンネルを見ることができるのだろうと思うと、春が待ち遠しく感じられました。



－長谷川町子美術館前の桜並木－

毎年すばらしい花を咲かせて私たちを楽しませてくれる桜の木々は、世田谷区内の公園や並木道で広く見ることができますが、今年の桜を見る際は、世田谷と桜とのつながりに思いをはせてみてはいかがでしょうか。

世田谷の地名や桜並木を知る本

『世田谷の地名（上）』（世田谷区教育委員会）　ＧＡ２１００
『世田谷の地名（下）』（世田谷区教育委員会）　ＧＡ２１００
『住居表示のあゆみ　１９７１』（世田谷区）ＧＡ３１８１
『せたがやの散歩道』（世田谷区区長室広報課）　ＧＡ２１００
『せたがや花マップ』（世田谷区）ＧＡ２１００
『世田谷城跡』（世田谷区教育委員会）ＧＡ２１０２
『日本名所図會全集 6』（名著普及会）２１００に（※保存庫所蔵）
『町名のいわれ』（世田谷区立尾山台図書館）ＧＡ２１００

特集２　より便利な予約サービスへ

平成２５年３月１日(金)～

上・下巻などの本を順番に受け取ることができます

図書館ホームページや利用者用検索機（OPAC）で、予約資料の受取順を指定する「巻数順貸出」ができるようになりました。図書館ホームページでは、「利用者状況確認」の「予約状況照会」で、利用者用検索機（OPAC）では、「利用者メニュー」から「予約照会」での操作になります。

予約受取館の変更ができます

図書館ホームページや利用者用検索機（OPAC）で予約受取館の変更ができます。ただし、以下の場合には変更できませんので、ご注意ください。

- 区外の図書館から借用してご提供する資料
- すでにご提供の用意ができている資料
- 受取する館へ運ばれている（回送中）状態の資料

図書館ホームページで予約順位が確認できます

図書館ホームページでは、予約待ちの「順位」を確認することができますが、利用者検索機（OPAC）ではご確認いただけませんのでご注意ください。

※ なお、図書館ホームページや利用者用検索機（OPAC）での予約サービスのご利用には、事前にパスワード登録が必要です。

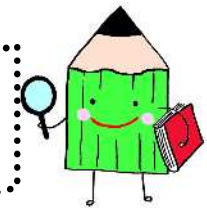
≪世田谷区以外にお住まいの方へ≫

３月１日より、世田谷区立図書館に**所蔵のない図書や雑誌の予約、及び区外の図書館からの取り寄せ**は、世田谷区民の方に限らせていただくことになりました。

世田谷区立図書館で所蔵している資料については、今後も予約ができます。

２月２８日までに受け付けいたしました未所蔵資料の予約は、用意が出来次第提供いたします。

学びのプレゼン～学習活動発表会～



「学びのプレゼン～学習活動発表会」は、世田谷区立図書館ビジョンに基づく、区民の学習成果の発信支援事業として、中央図書館が昨年度から取り組んでいる事業です。

第２回の今年度は、平成２４年１２月１日（土）に５組の発表者が日ごろの学習活動成果を発表しました。大人だけでなく小学生も参加し、また、紙芝居を使っての発表などバラエティーに富んだ内容になりました。（写真は発表者のみなさん）

この発表の内容は、第２回の記録として冊子にまとめ、各図書館の地域資料コーナーに所蔵します。どうぞご覧ください。

図書館等を利用して学習活動をされている方、来年ぜひ発表してみませんか？

第７回世田谷区子ども読書活動推進フォーラム

平成２５年２月１７日（日）に、成城ホール集会室で「第７回世田谷区子ども読書活動推進フォーラム」が開催されました。

第１部は『“ことばおじさん”の読書講座」というテーマで、梅津正樹氏（元ＮＨＫエグゼクティブアナウンサー）に講演していただきました。「ことばとは『感性』。読み聞かせは、子どもの感性や想像力を豊かにする。」と、子どもへの読み聞かせを推進していらっしゃいました。時にはユーモアも交えつつ、目からウロコのお話ばかりでした。また、質疑応答も活発に行われ、小学生からも質問がありました。

第２部は「読書活動交流タイム」と題し、区内で活動されているおはなし会ボランティアグループや区立小学校で活動されているＰＴＡおはなしグループの方によるおはなし会実演や、子どもの読書活動について話し合う交流会を実施しました。

参加者からは、「大変たのしいひとときでした。」などの感想がありました。

講師　梅津正樹氏
獨協大学やＮＨＫ文化センターで講師を務める傍ら、執筆・講演活動を続けていらっしゃいます。

交流会の様子
コーディネーターの生田美秋氏（世田谷文学館学芸部長）・中央

文字・活字文化の日記念講演会

群読をする松沢中学校の生徒

１２月２２日（土）に、玉川区民会館にて「文字・活字文化の日」の記念講演会が開催されました。

この講演会は２部で構成されており、第一部で区立中学校の生徒による群読・朗読の発表、第二部で作家による講演が行われました。

第一部では、まず松沢中学校の生徒たちが、「生きる」（谷川俊太郎作『うつむく青年』より）と、松沢中学校の生徒たちが共同制作した「私たちの生きる」の２つの詩を群読しました。次に、上祖師谷中学校の生徒たちが、東日本大震災で被災した子どもたちの作文を集めた『つなみ』と、『福島の子どもたちからの手紙－ほうしゃのうっていつなくなるの？』の２つの作品の朗読をしました。

講師の逢坂剛氏

第二部では、作家の逢坂剛氏（『カディスの赤い星』で直木賞を受賞するなど多数の賞を受賞。その他著作多数）を講師にお招きし、「読書と日本語～読書で楽しむ日本語～」というテーマで講演を行っていただきました。

来場された方々からは、「中学生の群読・朗読に感動した」「逢坂先生のお話を直接聞けて良かった」などの感想をいただきました。

サザエさんコーナーができました

世田谷区の桜新町ゆかりの漫画家、長谷川町子さんにちなみ、「サザエさんコーナー」を設置しました。

１階の図書館の入口からまっすぐ進み、右側の子育て支援コーナーの隣にあります。「長谷川町子全集」「よりぬきサザエさん」のほか、関連本を集めています。

アニメとは違う原作の味わいをお楽しみください。

深沢図書館が通常業務を再開しました！

深沢図書館は、施設の改修に伴って昨年９月より一部の業務に限っての開館となっていましたが、２月１日より通常業務を再開しました。

皆様に利用していただきやすくなるように、子ども・雑誌コーナーを見やすく整理しました。ぜひご利用ください。

新着図書案内

道徳教育の取扱説明書―教科化の必要性を考える
貝塚茂樹著　（学術出版会）３７１６か

道徳が「教科化」されることによって、教師はこれまで以上に子どもたちの道徳性に目を向けざるをえなくなります。それは、同時に教師が必然的に自らの人格や生き方を直視する、ということです。道徳の「教科化」は道徳教育の内容と方法にとどまらず、教育全般の方法と教員養成のあり方へと議論を広げることになり、道徳教育の活性化のための「起爆剤」となりえます。
「修身科＝悪玉論」から脱却して将来の新たな道徳教育の展望と地平を拓くためにも、道徳の「教科化」を強く提案したい、と筆者は書いています。
いじめや体罰の問題が大きく取り上げられる現代において、この本は道徳教育を見つめなおすきっかけとなるはずです。

びんぼうがみじゃ
苅谷澄子作　西村繁男絵
（教育画劇）Ｅ赤に

ぼろぼろの着物を着たひょろひょろのおじいさんが、ある日、おだんごやを営むたっくんの家にやってきました。おじいさんが隅っこの席に座ると、それまでおいしかったおだんごが急に硬くなり、食べていたお客さんが怒って帰ってしまいます。
「わしが来た家は貧乏になるんじゃ。とほほ、すみませんね」と恐縮するおじいさん。しかし、その一言が現実になり、家の中はてんてこ舞い。びんぼうがみが住みついてしまったのです。たっくんと家族は困り果て、逆に嫌われるびんぼうがみをもてなし始めます。
ユーモア溢れるストーリーと意外な展開に、最後まで目が離せません。

日本百貨店
鈴木正晴著　（飛鳥新社）　７５０２す

手作りの温かみを感じさせる日本雑貨を愛好する方は多いのではないでしょうか。しかし、時代や社会情勢の変化から、日本雑貨を扱うお店が少なくなり、伝統や文化が絶えてしまうことを筆者は憂慮しています。
この本では優れた品々を直接見て購入してもらえるようにと、筆者が２０１０年に御徒町にオープンした「日本百貨店」で扱っている物のうち、２５６点を紹介しています。
家族や友人にプレゼントしても喜ばれそうな品々にわくわくさせられるだけでなく、先人の知恵や生活をしのぶきっかけにもなる一冊です。

ボクらのエネルギーって、どうなるの！？
岸田一隆著　（エクスナレッジ）
５０１６き

原発事故以降、エネルギーへの関心が高まっています。そもそも「エネルギー」とは何なのでしょうか。
本書は、前半で大学講師の著者が節電や資源などのエネルギーの問題についてQ&A 形式で解説しています。また、後半には４人の異なった分野の専門家と筆者の対談が収録され、エネルギーについてそれぞれの考えが述べられています。
筆者は、エネルギーの問題を社会全体で判断するためにみんなで考えようと呼びかけています。
エネルギーとは何かを知り、考える第一歩の手助けとして役立つ一冊です。

本を探そう！～地域資料編～

世田谷区立図書館では、世田谷や東京都の行政資料や郷土資料を「地域資料」として所蔵しています。地域資料は世田谷区や東京都のことを調べるのに役立ちます。本紙の特集にも参考資料として掲載しています。地域を知るのに役立つ地域資料の探し方を紹介します。

ステップ１　利用者用検索機（ＯＰＡＣ）で検索しよう

まず利用者用検索機（ＯＰＡＣ）で、探している地域資料を検索してみましょう。タイトルやテーマなどを指定して検索すると、一覧が表示されます。探している地域資料があったら、その情報を見てみましょう。“資料の一覧を表示する”を押してください。“所在館”欄に「中央」、“状態”欄に「在庫」とあれば、中央図書館の書棚にあります。資料確認票を印刷して、探しに行きましょう。

ステップ２　資料確認票の見方

資料確認票には、所在を示す“書架”と“請求記号”の情報が出ています。“書架”とは、図書館にある書棚のことです。“請求記号”は、書棚に並んでいる資料の背表紙に貼ってあるラベルと対応しています。請求記号の Ｇを除いたアルファベットはラベルの上段を対応し、数字は分類番号を表し下段と対応しています。

資料確認票

所蔵館	状態	書架	請求記号
中央	在庫	地域世田谷	GA2100
経堂	貸出	地域資料	GA２１

背表紙ラベル→

A
2100

ステップ３　資料を探しに行こう

地域資料は地下１階自然科学フロア（Ｎフロア）の地域資料コーナーにあります。右表の地域ごとに書棚が分けられています。さらに地域の中で請求記号の数字の順番に並べられています。なお、ラベル上段が「Ｃ（２２区）」と「Ｄ（多摩・島しょ）」の資料は、アルファベットの隣にも数字が書かれています。この数字は自治体ごとに割り振られています。

↓地域分類表

ラベル上段	地域
A	世田谷区
B	東京都
C	22区 (世田谷を除く)
D	多摩・島しょ

利用者からいただいたご意見・ご要望をご紹介します

Ｑ．予約本のメール連絡の際に、書名を記載してほしい。たくさん予約していると、どの本が用意できたのか分からず、不便だ。

Ａ．予約確保メールについては、個人情報保護のため、タイトルは記載せず、資料ＩＤのみお知らせしております。お客様がタイトルをお知りになりたい時はインターネットで確認していただくか、図書館までお問い合わせいただくようお願いいたします。

編集後記

図書館にある桜にまつわる資料をＯＰＡＣで検索しました。地域資料あり写真集あり、ＣＤあり、レシートを出して書架を探すと絵本や文学作品など新たな可能性が無限大にあります。図書館の中の桜を発見しましょう！世田谷区の中で自分のお勧めの桜がある方、また図書館で自分のお勧めの本を見つけた方は、ご意見箱に投書をして教えてください。　（Ｋ）